

朝日カルチャーセンター 野外の自然観察  
「皿倉山」

11月19日（金） 参加者 21名

風もなく青空のもと、絶好の紅葉狩り日和にめぐまれました。ケーブルカー山上駅を出て歩き始めたところから、イロハカエデの紅葉の真っ盛り、日の光を受けて輝く色に感激。ウリハダカエデも黄色一色の木、てっぺんだけが真っ赤になった木など日の当たり具合かその木の気分なのか、、、。コムラサキ、ムラサキシキブの明るい紫色の実、ハクサンボク（ヤマテラシ）の楕円のつやのある赤い実にも出会えた。カマツカが黄葉とともにバラ科特有の赤い実をいっぱいつけていた。イヌシデは葉を落としてしまって、たくさんの果穂がミノムシのようにぶら下がっていた。皿倉平から江戸時代に黒田藩植林されたという皇后杉林群までは光のささない林の中の道なので、ひたすら歩く。皇后杉周辺には幹回りが3メートルを超える杉の巨木が数本立ち並び厳かな雰囲気漂う。アカガシ、エノキ、カゴノキなどの巨木もチラホラあった。

昼食後は薬用植物園へ。薬用、有用植物が150種以上植えられているということです。キササゲに実がさがり、ヤマツツジやレンギョウは季節外れの花を咲かせていた。テイカカズラに妙な実がたくさんぶら下がっていると思ったら、テイカカズラミサキフクレフシという虫こぶ（タマバエの）だった。初めて見た。紅葉したメグスリノキも毛深さを目の前で観察できた。

ウドの花。セリバオウレンとイカリソウは、独特の葉。マルバノホロシの派手な赤い実、ツルリンドウのおとなしい赤い実、サンシュユは葉裏の脈腋の毛叢とグミに似た赤い実など



を堪能し、最後は、スロープカーで山頂へ行き、北九州市の大展望を楽しみました。

担当 手嶋 久保田（記）

